

おぞの

尼崎市立小園小学校 学校だより

令和2年11月30日

No.9



感染防止意識の再固めを

校長 平野 真紀

新型コロナウイルス感染症の拡大に歯止めがかかりません。それどころか、兵庫県を含む多くの都道府県で、新規感染者数が頻繁に最高を更新しています。現在の県の警戒指標は、5段階の最高レベルを超える「感染拡大特別期」に引き上げられています。インフルエンザの流行が始まる季節と重なることから、今一度、感染防止対策の徹底を図るため、コロナ禍に少し慣れてきているかもしれない自分自身の意識を固め直さなければならないと思います。

学校では、寒くなるとしにくくなる教室の換気と手洗いを励行しています。これは、インフルエンザやノロウイルス等の感染症予防にもつながります。ご家庭では、登校前の健康チェックをより注意深くしていただきたいと思います。家での検温をし忘れた児童は、登校時に校門で立ち番の先生に測ってもらうことになっているのですが、この頃体温計がよく測定不能マーク「Lo」を示します。(測れても35度前半で出ます。)冷たい外気の中を歩いてきた場合に起こる現象のようです。必ず登校前、ご家庭での検温を忘れないようにお願いします。

11月2日、5年生が六甲山自然の家に日帰りの自然学校に行ってきました。あいにくのお天気で美しいはずの景色は見えず、予定していた野外での活動もできませんでしたが、ネイチャーゲームと焼き板クラフトを楽しむことができました。自然学校は、本来なら4泊5日で行われます。尼崎から遠く離れた山の中の施設で、自然に親しみながら思いやりの心や自立心、集団で行動するときのルールやマナーを身につけていきます。最初はできないことが多くて注意されるばかりの子どもたちが、3日後半くらいからどんどん変わっていき、最終日にはどの子どもぐんと成長した顔つき、姿になります。この貴重な経験ができなかった今年の5年生には、学校での生活や経験から多くのことを学び、成長してくれることを期待しています。

6年生は、11月26日に日帰りの修学旅行に行ってきました。こちらは一日中好天に恵まれ、子どもたちにとって小学校生活のいい思い出づくりができたと思います。USJは感染防止対策をしっかりしていましたし、市もバスを1台追加してくれました。どの班も互いに協力したり思いやったりしながら、お目当てのアトラクションを心ゆくまで楽しんでいました。

今年は、どの行事も例年通りの形ではできずにここまで来ています。ただ、マイナスばかりではなく、こんなやり方もあったのだと気付かされることも多々あります。この経験が無駄にならないよう、これからの学校運営に生かしていきたいと考えています。一日も早くコロナが終息し、今の子どもたちが数年後、「ああ、あの時はコロナでそうだったんだよね」と、笑いながら懐かしく思い出してくれることを願います。

